

共通事項

2020/21 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

FIS 関連規定に関しては、SPECIFICATIONS FOR ALPINE COMPETITION EQUIPMENT を参照にしている。スキー用具に関する規定は、ここに記載があるため、疑義が生じた場合は必ず目を通すこと。なお訳文と原文とに相違がある場合は、原文を優先する。

特に記載のないものは FIS 規定に準拠するものとする。SAJ 特別規定については別途記載する。この共通事項と各年代別のものを両方参照すること。

用具について (抜粋)

1. スキー板について
各年代別のページを参照すること。なお購入の際には販売店と相談をし、年代別 FIS 規定に適合したものを購入すること。
2. ビンディングについて
プレート類を取り付ける際、スキー滑走面からブーツソールまでの高さは最大 50mm とする。
3. スキー靴について
ブーツソールから踵の下まで、すべての部品を含めた厚みは最大 43mm とする。
U14 と U16 においてはスキーの高さとブーツの厚みを同じにすることを推奨する。
4. スキー一式、ブーツ、バックプロテクターにおける公差

2.1.1.公差 (一部抜粋)

項目	公差
スキー滑走面からブーツソールまでの高さ (踵部)	0.1mm
スキー長	10mm
スキー幅 (最小値)	0.1mm
スキー前部の幅 (最大値)	0.1mm
スキー靴ソール部厚み	2mm
バックプロテクターの厚さ	1mm

5. レーシングスーツについて
SL を除くすべての FIS および SAJ レースで使用されるレーシングスーツは、FIS 規定の空気透過率基準をクリアしなければならない。

※SAJ 特別規定

K2 公認大会においては、FIS 規定レーシングスーツの着用を免除する。

2021/2022 シーズンより、K2 公認大会を除くすべての SAJ 公認大会において、FIS ラベルのあるレーシングスーツを着用すること。

6. ヘルメットについて

全ての FIS および SAJ 公認大会では、新規格対応表示 (FIS ステッカー[RH2013]) が明示されているヘルメットの着用を義務とし、DH、SG、GS 競技に適用される。メーカー公式付属品以外の装着は禁止とする。

SL では、ヘルメットの耳部分のソフトパッドの使用を認めるが、EN1077 または ASTM2040 認証が必須である。

※SAJ 特別規定

SL の FIS 規定については推奨とする。

ナショナルエンブレムの貼付はナショナルチーム及び日本代表チームとして海外で競技に参加する場合は必須とする。ただしナショナルエンブレムを貼付せず、ヘッドスポンサーステッカーを貼付する場合は、前面におおよそ高さ 5cm のスペースを空けること。

7. バックプロテクターについて

U16 以下はバックプロテクターの使用を推奨する。

8. フッ素化ワックスの使用禁止について

2021/2022 シーズンより使用を禁止する。2020/2021 シーズンにおいて検査は実施しないものの、是非とも自然環境や人体へ悪影響をもたらすフッ素化ワックスの使用を今シーズンから改めて頂きたい。

スキー、スノーボードは自然環境の中で行うスポーツであり環境への配慮と、多くのスノースポーツ愛好者やアスリートの健康を考慮したルールである。

中学生用

2020/21 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

年齢区分：FIS においては学年に関係なく、生年でカテゴリーが決定する。

FIS

Years of Birth	Category
2008	U14
2007	U14
2006	U16
2005	U16

SAJ

学年	レース区分	国体
1年生	K2	参加不可
2年生	K2	参加不可
3年生	K2	少年組

スキーについて：

1. SAJ 特別規定

K2 においては FIS U16 規定を適用する。

ただし SG に関しては推奨とする。SG スキーの最小値は男女とも長さ 175cm、ラディウス 27m とする。

2. 共通事項

ビンディング下の幅 65mm 以下 (SG / GS)

3. 個別事項

FIS	SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length
U14 規定					
女子	規定なし*	規定なし*	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上
男子	規定なし*	規定なし*	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上

*SAJ 公認大会においては体格、体力、技能に適応したスキーを使用すること。

FIS	SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length
U16 規定					
女子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上
男子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上

2020/21 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

年齢区分：FIS においては学年に関係なく、生年でカテゴリーが決定する。

FIS

Years of Birth	Category
2005	U16
2004	FIS (U18)
2003	FIS (U18)
2002	FIS (U21)

SAJ

学年	レース区分	国体
1年生	K2* / SAJ	少年組
2年生	SAJ	少年組
3年生	SAJ	少年組

*早生まれに限るが、出場可能大会は限定される。詳細は大会要綱を確認すること。

スキーについて：

1. SAJ 特別規定

K2 においては FIS U16 ルールを適用する。

2. 共通事項

ビンディング下の幅 65mm 以下 (DH / SG / GS)

63mm 以上 (SL)

3. 個別事項

FIS U16 規定	SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length
女子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上
男子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上

FIS 規定	DH		SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length	Radius	Length
女子	210cm 以上*	50m 以上	205cm 以上*	40m 以上	188cm 以上*	30m 以上	155cm 以上
男子	218cm 以上*	50m 以上	210cm 以上*	45m 以上	193cm 以上*	30m 以上	165cm 以上**

*FIS / YOG / NJC においては-5cm の許容あり

**U18 初年度は-10cm の許容あり

大学生用

2020/21 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

年齢区分：FIS においては学年に関係なく、生年でカテゴリーが決定する。

FIS

Years of Birth	Category
2002	FIS (U21)
2001	FIS (U21)
2000	FIS (U21)
1999	FIS
1998	FIS

SAJ

学年	レース区分	国体
全学年	SAJ	成年 A 組

スキーについて：

1. 共通事項

ビンディング下の幅 65mm 以下 (DH / SG / GS)
63mm 以上 (SL)

2. 個別事項

FIS 規定	DH		SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length	Radius	Length
女子	210cm 以上*	50m 以上	205cm 以上*	40m 以上	188cm 以上*	30m 以上	155cm 以上
男子	218cm 以上*	50m 以上	210cm 以上*	45m 以上	193cm 以上*	30m 以上	165cm 以上

*FIS / YOG / NJC においては-5cm の許容あり

年齢区分早見表

生年	学年	FIS区分	SAJ区分	国体区分						
1999	大4早	FIS	シニア	成年A組						
	大3									
2000	大3早	U21 (FIS)			シニア	成年A組				
	大2									
2001	大2早						U21 (FIS)	シニア	成年A組	
	大1									
2002	大1早		U21 (FIS)	シニア						成年A組
	高3									
2003	高3早	U18 (FIS)			シニア	少年組				
	高2									
2004	高2早						U18 (FIS)	シニア	少年組	
	高1									
2005	高1早		U16 (Youth)	K2						少年組
	中3									
2006	中3早	U16 (Youth)			K2	少年組				
	中2									
2007	中2早						U14 (Youth)	K2	少年組	
	中1									
2008	中1早		U14 (Youth)	K2						少年組
	小6									
2009	小6早	K1			K1	少年組				
	小5									
2010	小5早						K1	K1	少年組	

使用可能スキー早見表 (数値は最小値とする。)

種目	性別	数値	FIS Level3以上	FIS Level2以下 SAJ (除コース)	SAJ (コース)			
					K2 (FIS U16と同等)		K1 (FIS U14と同等)	
						SAJ特別ルール		SAJ特別ルール
DH	女子	長さ	210cm	205cm	-	-	-	-
		ラディウス	50m	50m	-	-	-	-
	男子	長さ	218cm	213cm	-	-	-	-
		ラディウス	50m	50m	-	-	-	-
SG	女子	長さ	205cm	200cm	183cm	175cm	-	体格、体力、技 能に適したもの
		ラディウス	40m	40m	30m	27m	-	
	男子	長さ	210cm	205cm	183cm	175cm	-	
		ラディウス	45m	45m	30m	27m	-	
GS	女子	長さ	188cm	183cm	188cm以下	-	188cm以下	130cm
		ラディウス	30m	30m	17m	-	17m	14m
	男子	長さ	193cm	188cm	188cm以下	-	188cm以下	130cm
		ラディウス	30m	30m	17m	-	17m	14m
SL	女子	長さ	155cm	155cm	130cm	-	130cm	-
	男子	長さ	165cm	165cm ^{*1}	130cm	-	130cm	-

*1:U18 1年目のみ、-10cmの許容差を認める。

*スキー長はスキー板に記載されている数値で判断する。

*JOCジュニアオリンピックカップK1カテゴリーは上記のスキーを利用すること。

*原文との相違が見られる場合は、原文を優先する。

2020-2021 国内公認大会出場資格【基本枠】

● 2020-2021シーズン 以下に掲げる国内公認大会は、SAJ No.3/FIS No.7以降のポイントリストによって出場資格を得ることができる。
 FISレース (level3) 以下のレースに以下のレースに関して女子の参加基準は適用する。エントリーオーバーした際の優先順を確認してください。
 別紙の出場資格確認事項 (その他の関連事項) をご確認ください。

カテゴリー	FEC		NC		FEC		FIS / NJC※2 / NJR※3	
	FEC特設系 (日本開催)	全日本選手権 (技術系)	男子	女子	全日本選手権 (FEC SG・AC)	国内FISレース/ 全日本ジュニア選手権※2/ NJR (技術系)	国内FISレース/ 全日本ジュニア選手権※2 (SG・AC)	男子
ポイント ランキング	参加資格種別	対象	共通		男子	女子	男子	男子
			1 FISポイント [ランキング] (SL・GS・SG)	80位	100位	100位	100位	150位 SG 200位
			2 FISポイント [ランキング] (SL・GS・SG)	80位	100位	100位	50位	50位
			3 SAJポイント [ランキング] (SL・GS・SG)	80位	100位	100位	100位	150位 SG 200位
4 SAJポイント [ランキング] (SL・GS・SG)	80位	100位	100位	50位	50位	50位		
2004年生まれ			5位	5位	5位	15位	15位	
上記資格では、各大会のエントリー締切日までに発表されたポイント・ポイントランキングで出場資格を得る								
競技会 順位	特別枠	対象	全日本選手権	10位※1	10位※1	10位※1	10位※1	
			全日本学生選手権 (1都府県)	10位	10位	10位	10位	
			全日本学生チャンピオン大会 (SG・AC)			10位	10位	
			全国高校大会	10位	10位	10位	10位	
			全国高校選抜大会					
			全国中学校大会	5位	5位	5位	5位	
その他	推薦枠	対象	全国ジュニアオリンピック					
			SAJ競技本部推薦 (プロテクト)	10名 (5名)	10名 (5名)	10名 (5名)	10名 (5名)	★
			推薦枠 (プロテクト)	5名 (3名)	5名 (3名)	5名 (3名)	10名 (5名)	(30名)
			都道府県推薦		有資格者名をない場合以外は 男女各種目1名の出場枠を与える (プロテクト)		有資格者と推薦枠で 140名を満了していない場合のみ 出場できる	
学連推薦			有資格者・推薦枠 (7名外)・ 都道府県推薦で140名を満了して いない場合のみ出場できる		有資格者・推薦枠 (7名外)・ 都道府県推薦で140名を満了して いない場合のみ出場できる			

※1 前年度順位

※2 U21の選手以外は、海外選手も含め25名まで出場できる

※3 U21の選手以外は出場できない、海外選手は25名まで出場できる

国内公認大会出場資格確認事項（その他関連事項）

◆ エントリーオーバーした場合の優先順位

- ① 全日本強化指定選手・国内強化指定選手
- ② 開催県推薦選手（プロテクト30名）※開催ブロック内の選手に限る。（開催ブロック出身学連登録選手も含む）
- ③ 男子：有資格者（当該種目FISポイント順、FISポイントを有していない場合はSAJポイント順）
女子：当該種目FISポイント順、FISポイントを有していない場合はSAJポイント順
- ④ 開催県推薦選手 ※①のプロテクト30名以外のブロック内登録選手。（開催ブロック出身学連登録選手も含む）
- ⑤ 都道府県推薦選手 ※当該種目FISポイント順、FISポイントを有していない場合はSAJポイント順
- ⑥ 学連推薦選手

◆ AC種目においてエントリーオーバーした場合の優先順位

基本的に上記優先順位で決定するが、

- ① 開催県推薦選手（プロテクト30名）
- ② 有資格者≪ACポイント所有者≫
で最大人数を満たさない場合は、最初に実施する種目のポイントを次に優先する。

◆ SG種目においてエントリーオーバーした場合の優先順位

基本的に上記優先順位で決定するが、

- ① 開催県推薦選手（プロテクト30名）
- ② 有資格者≪SGポイント所有者≫
で最大人数を満たさない場合は、GS種目のポイントを次に優先する。

◆ エントリーリーグ

- ① 参加資格はFIS登録済の者とする。
- ② 開催県推薦は、30名をプロテクトする。
（開催県選手を優先とし、開催ブロックの選手、開催ブロック出身学連登録選手を含む）
- ③ 140名のエントリーを超えた場合は、FISポイント下位の者（FISポイントない場合はSAJポイント下位の者から）から参加資格を失う。

◆ エントリーについて（FIS公認大会・B級公認大会）

- ① 各大会のエントリー締切日は、第1回チームキャプテンミーティングの10日前とする。
開催地組織委員会は、要項に明記すること。
- ② 学連所属選手は各大学からのエントリーを認める。
- ③ 都道府県推薦枠には学連登録選手を含まない。
- ④ 学連ブロック推薦の受け入れの有無は開催地組織委員会が決定し要項に記載する。
- ⑤ ③及び④について、推薦状の提出は不要です。
- ⑥ エントリーは有資格者と合わせて、各都道府県、大学毎に申し込みをする。
個人・高校・中学・クラブからの申し込みは受け付けない。
- ⑦ 都道府県推薦、学連推薦はエントリーフォーム氏名欄に「氏名（推薦）」と明記すること。
- ⑧ エントリー締め切り後、エントリーが上限まで満たさない場合は追加エントリーを認める。
（必ず各都道府県連に通知、または開催県ホームページに掲載する）

※（開催ブロック出身学連登録選手も含む）を適用するかどうかについては、主催加盟団体が属するブロックの判断に委ねる

◆ 大会スケジュールの変更とキャンセルについて

- ① 大会スケジュールの変更および中止の連絡は、最初のチームキャプテンミーティングの4日前までに
全日本スキー連盟事務局に報告しなければならない。
- ② 加盟団体・選手・チームキャプテンへの連絡は、大会組織委員会が責任を持って行う。
- ③ 開催の是非については、TDも判断に加わる。

2020-2021 SAJ ポイント (アルペン) ペナルティ表

SAJ カテゴリー	レース レベル	加算値	ミニマム ペナルティ	マキシマム ペナルティ	種目	F 値	マックス ポイント
FEC	0	0	15	999	SL	730	165
全日本選手権	1	2	20	999	GS	1010	220
FIS・NJC・NJR ・UNI・SAJ-A SAJ-AK2	2	3	23	999	SG	1190	270
SAJ-B	3	4	30	999	AC	1360	270
ENL SAJ-BK2	4	13	60	999			

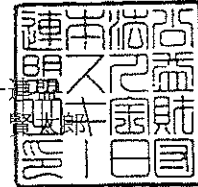
【説 明】

- 1 FIS ポイントリスト 1stPAGE は発行されましたが、今シーズンの変更はありません。
- 2 ユース競技会 (K 2) については、先シーズン同様に S A J - B (K 2) もしくは S A J - A (ジュニアオリンピック・全国中学等) のカテゴリーとして計算してください。
- 3 すべての公認競技会において F I S ポイントルール通り完走者は 5 名以上かつ完走者のうちポイント保有者は 3 名以上であることがポイント成立条件となります。

SAJ 令和 3 競第 180 号
令和 2 年 10 月 22 日

関 係 各 位

公益財団法人全日本スキー連盟
競技本部長 皆川 賢太郎



フッ素化ワックスの使用禁止の検査実施の延期について(通知)

日頃から、本連盟の諸行事に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。
さて、2020年10月9日に開催された国際スキー連盟(FIS)理事会において、別紙のとおり FIS 競技会におけるフッ素化ワックスの使用禁止に伴う検査の実施を延期することになりました。

また、本連盟としても FIS の決定を受け、2020/2021 シーズンからの検査実施は行わず、2021/2022 シーズンから実施することといたします。

ただし、スキー、スノーボードは自然環境の中で行うスポーツであり環境への配慮と、多くのスノースポーツ愛好者やアスリートの健康を考えたルールであります。

SAJ としても、この FIS のルールに賛同し、更に来シーズンに向けた FIS の動向と情報を収集しながら、検査は実施しないものの、是非とも自然環境や人体への悪影響をもたらすフッ素化ワックスの使用を今シーズンから改めて頂きますようお願い申し上げます。

参考資料

- ・ FIS メディアリリース (原文)
- ・ FIS メディアリリース (和訳)